

平成24年度包括外部監査 テーマ:公有財産(土地・建物を中心に)の有効活用について

No	監査年度	区分	項目	担当部局	担当課	監査結果	対応状況・方針等
1	24	指摘	職員住宅に関するコスト情報の把握について	総務部	人事課	<p>○職員住宅に関するコスト情報の把握について</p> <p>県では職員住宅の供給過剰、統廃合に関する課題は認識するものの、解体撤去費の予算が確保できないなどの事情で、統廃合を見送り維持していく方針。ただ職員住宅の維持にかかるコストと土地の処分による売却収入を得る機会を逸することを考慮すれば、予算が確保できないからといってこのまま維持することが却って経済的でないことは明らか。</p> <p>職員住宅別にどれだけの維持・運営コストがかかるのかを把握する必要がある。そのため公舎別に行政コスト計算書を作成するなど、コスト情報を把握するうえで有用となる資料を作成する必要がある。</p>	<p>職員住宅の統廃合については、平成19年度に策定した「職員住宅・独身寮の維持管理方針」に基づき対応しているところであるが、今回の御指摘を踏まえ、職員住宅別の減価償却等を含めた収支コスト計算資料を作成したところであり、今後は、この資料を基に住宅ごとの維持・運営コストの把握等に努めてまいりたい。</p>
2	24	指摘	離職者の住居確保のための職員住宅の活用について	総務部	人事課	<p>○離職者の住居確保のための職員住宅の活用について</p> <p>それでもなお、利用者がゼロである場合には、この制度が本当に必要なものなのか、制度そのものに何か問題はないのか、という点について検討することが必要である。</p>	<p>御指摘を踏まえ、過去の利用状況及び他県の状況等を踏まえて検討した結果、今後も利用が見込まれないことから、制度を休止することとしたい。(なお、再度必要が生じた場合は、制度の再開を検討する。)</p>